

# スピリチュアル物語

## 57話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリOTT内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「インナーチャイルド? 内側の子供??」マジョリアルが小首を傾げる。「そうじゃ。内側の子供じゃ」マグワートがマジョリアルの言葉をなぞる。「何処に居る子供だつて?」ウイザットは意味を掴めていない。「人間というものは感情の生き物じゃ。場面場面で感情の処理をしているとも言える。子供時代は、脳の発達が充分でないことと関連し、感情処理も上手く出来ないことも多い。脳は25歳位でやっと成熟するという説もあるんじゃ。その為、親からの酷いアビュースは当然ながら、そうではない些細な親や大人の言動、機嫌、躰けの場面等

で生じた感情を上手く処理出来ず、その未処理の感情が取り残され、心の中でインナーチャイルドとして迷子状態になつてしまふことも多いんじゃよ。そして、大人になつてからそれが時折トリガーとなり、他の人からすれば些細なことも過敏に反応し、怒り等の負の感情となつて爆発することもあるんじゃ。根深いインナーチャイルドの場合、アンガーマネジメントだけではコントロール不能で、その負の感情を収めるには、インナーチャイルドを探し出し、癒してあげる必要がある。インナーチャイルドは多かれ



少なかれ誰の心の中にも棲み付いているが、根深いインナーチャイルドが居る場合、折に触れそれが顔を出し、そのせいで人生が上手くいかないこともあるんじゃよ」「え? 人生が上手くいかない?」「そりゃ困るぜ」「まずはインナーチャイルドの存在、つまり取り残された感情に気付くことからじゃ。その為には…」

★これまでのお話(1~56話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) 4月13日号につづく!